

為せば成る！
働きやすい家をクリエイイト



肉眼で天の川が見えるほど星がきれいなことは、住み始めてから知った。



一斗缶に板を渡した作業テーブル。ノートPCとネット環境さえあれば、仕事はどこでもできるという好例だ。



水回り以外はすべて自分たちで。ついには電気工事士の資格まで取得し、配線もできるようになったというから驚きだ。



巨峰やマスクット、桃、レモンにゆずなど、果実の苗を10種類ほど育て始めた。ゆくゆくは敷地内で野菜も育てる計画だ。



フォトグラファー／其田有輝也・有馬百合香邸

3

築100年の古民家を再生 夫婦で「クラシゴト」の拠点を築く

会社員として、フリーのカメラマンとして二足の草鞋を履く其田さん。28歳の若さで夢だった古民家を買ひ、夫婦でDIYを行いながら、その様子をYoutubeやnoteで発信する。その価値観や生き方に共感する人も多く、新たに生まれた繋がりは、新しい仕事にも繋がっていく。

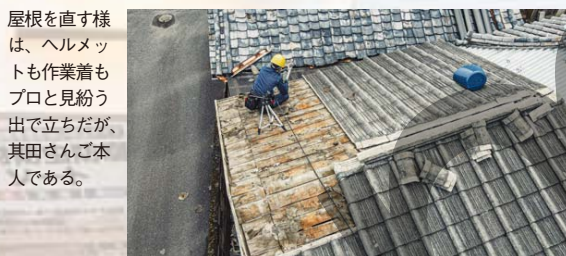
写真／其田有輝也 文／小林良介



囲炉裏と板張り広々とした屋内に年月を経た重厚な梁。高度なDIYスキルを身につけたことも、今後の生き方に大きなプラスになるに違いない。



量はもちろん床板まで剥がし、床下に防水処理を施す。



屋根を直す様は、ヘルメットも作業着もプロと見紛う出で立ちだが、其田さんご本人である。

DATA 其田邸



所在地：香川県高松市
敷地面積：730㎡
延床面積：150㎡
家族構成：夫婦
購入時期：2020年8月
リノベ完成時期：現在も継続中



其田有輝也・有馬百合香さん夫妻

其田さんのInstagramやnote、TwitterなどSNSのフォロワー数の合計は約5万人に上る。また高校時代の同級生だった奥様は、フォトグラファーとして働きつつシェアハウスの経営も行う、夫と同じマルチスキル型。夫婦そろって、生き方そのものをコンテンツに発信し続けている。



Twitter

「SONO | クラシゴト 図解」



Note

「SONO | photographer & designer」



YouTube

「ありんこの瀬戸内移住 - ARINKO LOG」

リノベの様子など、其田さんが発信しているさまざまなコンテンツはこちらから。

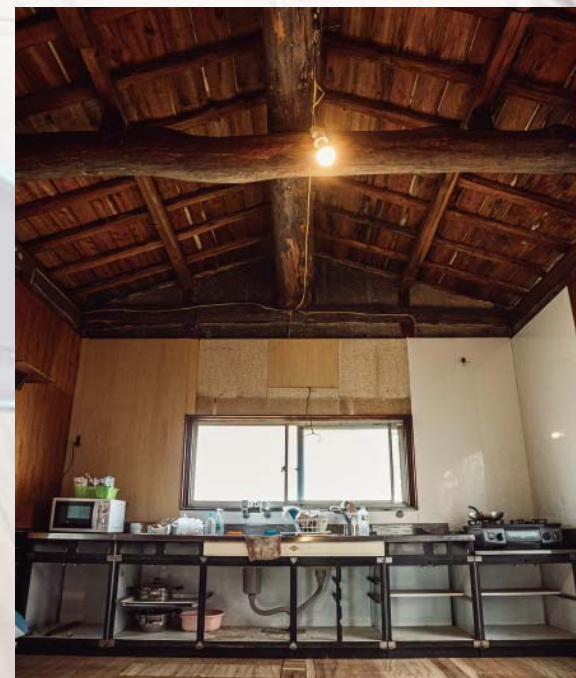
「新たな生き方のロールモデルになりたいんです」と語る。

になったことから、ワークスペースも設けた。一斗缶を机の足がわりにして板を乗せただけの「仮の仮の」仕事場だが、WiFi・F環境があることで十分に仕事はできる。そして其田さんはこうした活動をツイッターやインスタ、YouTubeにあげてコンテンツ化。自らの生き方、働き方を動画や文章で発信することで、新たな仕事や収入につなげている。複数の拠点、複数の仕事をもつ其田さんは「新たな生き方のロールモデルになりたいんです」と語る。

民間の気象会社に社員として勤めながら、副業で旅行写真や広告写真のフォトグラファーとして活躍する其田有輝也さん。東京と京都を拠点に活動していたが、コロナ禍によって会社からテレワークが認められたことをきっかけに、昨年、香川県高松市に築100年の古民家を50万円で購入した。28歳の時だ。60歳くらいで夫婦で田舎暮らしをしようと決めていた其田さんが、30年ほど早くその夢を実現させたのは、同じ価値観を共有する奥様と共に大切にしている、次の考え方によるものだ。

「やりたいことは早くやる。半径2mの大切な人を大切に。僕たちはこの3つを大切に生きている」

生き方を発信することでも収入を得る新しい夫婦の形



天井板を剥がしたことで露出した、古民家ならではの味のある梁はそのまま見せる形で。キッチン周りも、徐々に完成しつつある。

のですが、もちろん、年老いて気力や体力が衰える前に...という思いもありました」

中は不用品の山でポロポロの家。雨漏りのする屋根を直すだけでも400万円がかかると言われたことから、夫婦でDIYすることを決意した。動画サイトを参考に知識を仕入れ、また風呂やトイレなどの水回りだけはプロに依頼したため、その工務店の大工さんにも相談に乗ってもらった。「本当にやるんですか？」と驚かれたが、約3カ月をかけ80万円ほどの金額で達成。その後は床の張替えや壁の漆喰塗りなど、リフォームの全てを夫婦2人だけで行っている。ゆくゆくはこの家の一部をゲストハウスとして開放し、固定費を賄うリノベーションは進み、ようやく家の中で寝泊まりができるよう